

市民版



美術道具・専門

出張買取・査定 無料

0120-414-290

京都府公安委員会 第611241330026号

京都 ふくまる。 左京区下鴨松ノ木町64-2

市民版担当

☎ 075(241)6117

FAX 075(252)5454

読者応答室

☎ 075(241)5421

都の彩人

「雇用改善へ人生懸ける」

プールや風呂場、スロープの床に施されているざらりとした感触の滑り止め。障害者に滑り止め施工の特許技術を提供する「全国障害者就労支援防滑協会」(下京区)を3年前に設立した。障害者が働く就労継続支援A型事業所などが工事を受注すれば、「高い収益を確保でき、賃金向上につなげられる」と自信を示す。

事故が起きていることを知った。当時、建物への滑り止め加工はまだ珍しかった。「需要があるのでは」。全くの素人だったが、滑り止め加工専門の大手会社の系列店に入り技術を学び、1年ほどで独立した。

アフリー法が施行。時代の流れに乗り、大手リゾート施設の温泉や高速道路サービスエリアのトイレ、寺社の階段など、大型工事を次々と受注し、実績を重ねた。

県や奈良県、東京都の福祉団体と連携し、技術指導が実現するなど、手応えを感じている。

奈良県出身。32歳の時、京都市内でコンビニ経営を始めた。限界を感じて、別の仕事を探していた2000年頃、複数のコンビニ店舗で足を滑らせて転倒する

06年、滑りにくい建築物にすることを推奨したバリ

この技術を障害者雇用に役立てようと、施工手順を簡素化し、1日研修すれば誰でも習得できるようマニュアル化した。社員10人のうち障害のある人を半数雇

25万円の収益を出すことも可能という。「障害者の雇用状況改善のために、残りの人生を懸ける」と力強く語った。

西田光雄さん(70)＝京都市下京区



滑り止め加工の特許技術を持つ西田さん。この技術を生かし、障害者の雇用状況改善につなげたいと願う(京都市下京区・京都リサーチパーク)



会社を経営していた頃、障害のある人に滑り止め加工を指導する西田さん(右)。誰でもできるよう手順をマニュアル化した。西田さん提供

障害のある人に床の滑り止め施工法を教え、就労支援する

にしだみつお
▶西田光雄さん(70)＝京都市下京区

住民・観光客憩いの場に